

大阪維新の会大阪府議会議員団の府政報告(令和4年9月定例会 後半)



吉村洋文知事

子ども1人に米10kg 福祉職員1万円にギフト券 物価高騰対策として配付 吉村知事

成長していく子どもたちに食料を届け、子育て世帯を支援したい

府議会9月定例会が12月20日に閉会(会期84日間) / 知事提出の補正予算案などを可決

令和4年度 第9号補正予算 483億円

① 新型コロナウイルス感染症関係 182億円

● 高齢者施設等への支援 … 182億円

新型コロナにより施設内療養を行う高齢者施設等の支援に必要な経費を、国制度の対象期間の延長に伴い増額するとともに府独自の支援についても申請状況を踏まえ増額。



② 物価高騰等対策関係 191億円

● 子ども(子育て世帯)への食糧支援 … 77億円

● 福祉施設職員等への支援 … 51億円

● 福祉施設、医療機関、私立学校等へ光熱費の支援 … 59億円

● 中小企業のLED照明導入の促進 … 5億円



③ その他 110億円

● 2023年G7貿易大臣会合の推進 … 0.2億円

● 観光関連事業者への支援 … 110億円

● 中之島GATEターミナルの整備(債務負担行為 0.4億円)



子ども(子育て世帯)への米10kg相当の配付について

物価高騰により、子育て世帯の食費等の家計負担が増大。このため、18歳以下の子どもに米10kg相当(食料品も準備)を配付

概要 18歳以下の府内在住者に1人当たり「米10kg相当(食料品も準備)」を配付

対象者 令和5年4月1日時点で18歳以下の府内在住者(胎児含む)

配付方法 オンラインで申請(自宅へ配送)(予定)

申請時期 3月上旬～申請開始

配付時期 3月中～8月末

※アレルギーなどでコメの配付を希望しない場合は、米10kgとおおむね同じ額となる5,000円相当の食料品を配付



福祉施設職員等への支援

予算額: 51億円

感染拡大に伴う業務上の負担に加え、物価高騰の影響による生活上の負担が増加している介護・保育・障がい施設等の福祉施設職員等を支援するため、1万円分のギフトカード等を配付

概要 介護・保育・障がい施設等の福祉施設職員等に対し、1万円分のギフトカード等を配付

対象者 介護・保育・障がい施設等の福祉施設職員等(約46万人) ※幼稚園を含む

配付方法 事業者の協力のもと、対象者からの申請により配付

申請時期 2月頃 申請開始(検討中)

配付時期 2月頃 配付開始(検討中)



「中之島GATE」整備へ 大阪・関西万博に向けて 安治川沿いに船着き場

大阪府は2025年大阪・関西万博に向け、中之島GATEエリアに海と川の結節点としての乗り換えターミナル機能を有する船着き場を整備する。



夢洲から大阪湾を経て船着き場に到着した人が、小型の船に乗り換えることで、道頓堀や大阪城周辺などの大阪市中心部の観光地まで船で移動できるようになる。

府は、万博が行われる2025年の春の開業に向けて準備を進めることとし、海と川の結節点として、万博開催時はもとより万博後も水都大阪の魅力を発信するなど、大阪の成長に寄与していくとしている。

整備費 約 5.39 億円 (設計 0.35 億円 / 工事 4.8 億円 / 塗替え 0.24 億円) → 設計0.35億円については、9月定例会(後半)補正(債務負担行為)

維新提案 いのち輝く「人生会議」を推進する条例

大阪維新の会大阪府議会議員団では、大阪・関西万博において提唱されている「いのち輝く未来社会」において、全世代がいのちについて深く考え、すべての府民がいのち輝く人生を送ることのできる大阪府をめざし、「人生会議」を推進するために、条例案提出の提案を行い、賛成多数で可決されました。(条例全文は府議会ホームページをご覧ください)

人生会議とは

Step1 治療する際に大切にしたいことを考えてみましょう

家族や友人のそばにいたい
好きなことをし続けたい
家族に負担をかけたくない

Step2 もしものとき、あなたの思いを伝えてくれる人を選びましょう

どんな時でもあなたの希望を尊重できる人

Step3 今後予想される経過は? かかりつけ医に質問してみましょう

必要な医療やケアは?

Step4 希望する医療ケアについて話し合いましょう

入院するのはイヤ
一人にしないでほしい

Step5 書き留めておきましょう

話し合った内容は記録として書き残し、周囲と共有しておきましょう。

希望や思いは、時間の経過や健康状態によっても変化していくものです。「何度も繰り返し」考えていきましょう。

第8波に向けた府民による「備え」と「対策」について

準備しておくもの

- 体温計 ● 検査キット(体外診断用医薬品または第1類医薬品)
- 薬(常備薬・解熱鎮痛剤等) ● 日持ちする食料(5~7日分程度)



基本的な感染予防対策の徹底



相談窓口等の情報

■発熱等の症状があり、コロナ陽性判明前/コロナ陰性の場合
受診相談センター(発熱SOS) TEL 06-7166-9911
かかりつけ医がない、受診できる医療機関が知りたいとき 06-7166-9966
#7119(救急安心センターおおさか)
すぐ受診すべきか、救急車を呼ぶべきか迷ったときの相談窓口
#8000(小児救急電話相談)または TEL 06-6765-3650
夜間の子どもの急病時、病院に行った方がいいか判断に迷ったときの相談窓口
■コロナ陽性の場合
自宅待機SOS TEL 0570-055221 ※通話料はご相談者の負担(ナビダイヤルでのご案内)となります。
外来や往診、オンライン診察などの健康観察、健康相談等を希望する場合